

へくのへ

# 議会だより

Vol.225

令和4年11月2日  
発行



地域で受け継がれる館の下獅子踊

(写真説明16ページ)

令和4年第1回定例会(令和4年3月定例会)

もくじ ● CONTENTS

令和4年度予算は62億8726万円……………2

一般会計当初予算額を修正して議決……………4

第1回定例会 こんなことが決まりました……………6

一般質問に4人が登壇・村政を問う……………11

小さな太陽・明日をひらく子どもたち《山根小学校》……16

# 持続可能な九戸村の実現に向けて 令和4年度予算 総額62億8726万円を可決

令和4年第1回定例会は、3月7日から18日までの12日間の会期で開かれました。初日の本会議では、村長の施政方針演述と教育長の教育行政施政方針演述が行われました。今定例会では、村長から令和4年度の予算や条例など30件が、議員発議として議案1件が提出されました。  
一般質問には4議員が登壇し、教育環境整備のアンケート結果について、人材育成、コロナウイルス感染症対策などについて、幅広く村政をたどりました。

## 自主財源18・3%の依存型財政

令和4年度の一般会計と8つの特別会計、水道事業会計を合わせた本村の当初予算総額は、62億8726万円と決まりました。

このうち一般会計予算は50億3703万円、前年度当初予算と比較して7・2%の減となりました。歳入で一番多いのは、地方交付税の23億5683万円、全体の46・8%を占めています。これに対し、村税4億6042万円を含めた自主財源は、前年度より1億9354万円減と

なりましたが、その割合は18・3%と依然として低く、国や県に依存する財政となっています。

## 総務費が24・1%でトップ









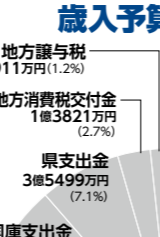

歳出では、総務費（一般事務経費や住民サービス）が12億1328万円、全体の24・1%でトップ。次いで土木費（道路橋梁費や道路新設改良費、住宅建設費など）が10億3201万円、全体の20・5%を占めています。

令和4年度の会計別当初予算額				
会計名	令和4年度	令和3年度	伸び率	
一般会計	50億3703万円	54億2979万円	△7.2%	
特別会計	国民健康保険	6億4740万円	6億1379万円	5.5%
	後期高齢者医療	7289万円	6672万円	9.2%
	農業集落排水事業	9690万円	3769万円	157.1%
	下水道事業	1億5942万円	1億3692万円	16.4%
	索道事業	1478万円	1623万円	△8.9%
	戸田財産区	707万円	789万円	△10.3%
	伊保内財産区	1060万円	689万円	53.7%
	江刺家財産区	463万円	465万円	△0.5%
計	60億5072万円	63億2057万円	△4.3%	
企業会計	水道事業	2億3654万円	2億7762万円	△14.8%
	収益的支出	1億4095万円	1億4098万円	0.0%
	資本的支出	9559万円	1億3664万円	△30.0%
予算合計	62億8726万円	65億9819万円	△4.7%	

### 一般会計予算

## 50億3703万円の使い方

・丸数字は、金額の多い順番 ・「%」は、構成比  
・カッコ内は、前年度当初予算額との比較増減

 <p><b>①総務費</b> 24.1% 12億1328万円 (2122万円)</p>	 <p><b>②土木費</b> 20.5% 10億3201万円 (2億7660万円)</p>	 <p><b>③民生費</b> 17.5% 8億7852万円 (8431万円)</p>
 <p><b>④公債費</b> 10.4% 5億2501万円 (1906万円)</p>	 <p><b>⑤教育費</b> 8.0% 4億551万円 (1億219万円)</p>	 <p><b>⑥消防費</b> 5.3% 2億6664万円 (△4億2970万円)</p>
 <p><b>⑦農林水産業費</b> 5.2% 2億6722万円 (△1257万円)</p>	 <p><b>⑧商工費</b> 4.0% 2億267万円 (△2億5680万円)</p>	 <p><b>⑨衛生費</b> 3.7% 1億8731万円 (1376万円)</p>
 <p><b>⑩議会費</b> 1.1% 5387万円 (△644万円)</p>	<p><b>歳入予算の内訳</b></p>	

### 村長施政方針演述

## 人口減少・ 少子高齢化対策が重点

3月7日の本会議では、令和4年度の村政運営に当たっての考えを示す施政方針演述が行われました。  
施政方針演述で晴山村長は、「村の人口減少と少子高齢化について、その対策を本村の最重要課題と位置付け、具体的な取組方針を「第3次九戸村総合発展計画」の基本目標である「誰もが住みたい、住み続けたい九戸村」の実現を目指し、ナインズプロジェクトを掲げ推進していく。」

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により、中止又は延期となった事業もあるが、新年度は、その巻き返しに務めながら、人口減少対策、少子高齢化対策を重点課題に据えて、村政発展に尽くしていく」と、新年度の村づくりに向けての決意を述べました。  
令和4年度の主な事業として、産直施設オドデ館のリニューアルが予定されるほか、

### 教育行政施政方針演述

## 教育環境の整備が急務

産業分野では将来の村の産業を担う後継者の育成や雇用の創出など、若手農業者の育成などを重点としていきます。

教育行政施政方針演述で岩瀬教育長は、「学校教育を取り巻く環境は激しく変化しており、これまでの学校観や指導法とは異なる概念や方法での児童生徒の育成が求められている。その中であって、少子化にある本村の教育環境を現在のまま維持し続けることには多くの問題があり、本村の教育環境の持続可能性について、懸念を持たないわ

けにはいかない。  
これまで、村民アンケートや教育懇談会等を通じて、本村の教育環境の現状の改善に向けては、何かしらの手立てを講じる必要があるとの方向性は見出すことができたのではないかと認識している。今後は、速やかに持続可能で良質な教育環境整備のための具体的な方向性を村民と議論していきたい」と述べました。



村の観光や交流などの情報発信が期待されるオドデ館

# 予算特別委員会 令和4年度一般会計予算 修正案を全員賛成で可決

議長を除く議員全員で構成する予算特別委員会(中村國夫委員長)は3月11日～17日まで開催され、令和4年度の一般会計をはじめ、10会計予算を審査しました。

一般会計当初予算の審査では、当初予算に対する修正動議が提出され、全会一致で修正案が可決されました。

その他の予算案9件はすべて原案のとおり「可決すべきもの」と決定し、3月18日の本会議で委員長報告のとおり可決されました。

ここでは、予算特別委員会で行われた質疑の中から主なものをお知らせします。



予算案の審議を行う予算特別委員会

## 一般会計

### 〔歳入全般〕 地方交付税の見込みは

本村の収入は、地方交付税が約半分を占める。将来的な見通しはどうか。

国内では高齢化、人口減少社会が進む中で、社会保障費の負担が大きくなることに加え、コロナ禍もあり、地方交付税の見通しは楽観的な見方はしていない。

村の財政は、依存財源に大きく頼っているのが実情であり、今後とも世の中の動きを注視しながら、情報収集を行い、それに見合った行財政運営に努めていく。

### ふるさと納税の収入見込み

新年度のふるさと納税の収入見込みはどうか。

令和4年度は、4月からホームページなどを活用しての宣伝効果を期待している。

### 〔総務費〕 技術系の職員配置は

村から消防団に対して諮問をしているとのことだが、内容はどうか。

①団員の減少と分団の再編について、②団員報酬の支払い方法について、③団員の報酬額等について、④消防演習など、各種競技会のあり方などについて、考えを伺いたいということと諮問している。

### 〔教育費〕 こどぼの教室送迎について

こどぼの教室への子供の送迎は保護者の負担となっていないか。

教育委員会でも問題意識を持っているので、これについては、保護者の負担にならないように検討したい。

### 〔民生費〕 乳幼児の待機児童あるか

出産して6カ月過ぎると、職場復帰をしたい女性が多い。受け入れ態勢はどうか。

相談していただければ、保育園の体制も含めて、できるだけ対応していきたい。

### 〔民生費〕 保育業務慰労金について

慰労金の支給をどう考えているのか。

コロナ禍の中で、保育業務に精励している職員に何らかの形で報いたいとの思いで予算計上したが、国から新たに示された事業だったこともあって、制度の理解も十分になされていない点は反省している。関係法令に沿って、十分に精査している。

### 〔民生費〕 水道事業会計

耐震化率ほどの程度か。

現在13.3%となっている。2028年度までに24.3%となる見込みである。

### 〔民生費〕 水道管の耐震化

村内に歯科医師が不在となったことにより、現在どのように対応しているのか。

二戸市の歯科医師7人を頼む、基本的には、保育園も含めて学校ごとに1人ずつ



将来の教育環境整備が急がれる

専門性の高い職員については、長くその部署で仕事をしてもらうことはできないか。

技術系の職員であれば、教師系の部署に異動する方法もある。また、技術系の職員は大変必要であり、技術系の職員を採用できないのであれば、庁内で育てるようなことも考えながら、人事異動を進めたい。

アンケート結果は、村民の意見だと思っているので、良質な教育環境の整備を進めてほしい。

基本的には、保護者を含む村民が決めていただくこと。教育委員会は、その考えるヒントをできるだけ多く提示したいと思っている。10数年後には、かなり児童生徒数が減るので、村として良質な教育環境が提供できるような体制を構築していきたい。

消防団の活動

村から消防団に対して諮問をしているとのことだが、内容はどうか。

①団員の減少と分団の再編について、②団員報酬の支払い方法について、③団員の報酬額等について、④消防演習など、各種競技会のあり方などについて、考えを伺いたいということと諮問している。

公営住宅整備について

入居要件を緩和した住宅建設とのことだが、従来の要件とどう変わるのか。

今後、高校生等を含んだ形で受け入れるような設備としたいということで提案した。

オドデ館の増改修工事

オドデ館の増改修工事、南側の整備はどうか。

南側の駐車場の整備は、これから工事の設計に入る。その中で、歩道、通路の件などを検討したい。

〔土木費〕  
公営住宅整備について

入居要件を緩和した住宅建設とのことだが、従来の要件とどう変わるのか。

今後、高校生等を含んだ形で受け入れるような設備としたいということで提案した。

〔土木費〕  
オドデ館の増改修工事

オドデ館の増改修工事、南側の整備はどうか。

南側の駐車場の整備は、これから工事の設計に入る。その中で、歩道、通路の件などを検討したい。

〔土木費〕  
森林整備事業補助金は

森林整備事業補助金の内容はどうか。

国の補助事業の対象となる森林の下刈り作業への国の森林環境保全直接支援事業に準じて、補助率4割で村の事業として行いたい。

予算案の審議を行う予算特別委員会

保育業務慰労金は、国において新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く保育士等の処遇改善のため、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提としている。

しかし、村の事業導入の方法は、歳出科目の「報償費」に保育業務慰労金として計上しており、これでは補助要件としている基本給や手当の引き上げにはならない。

保育職の処遇改善に反対するものではないが、処遇改善は給与と条例を改正して、正しく行うべきだ。さらに、地方自治法では、いかなる給与その他の給付も法律又はこれに基づく条例に基づかなければ、支給することができないこと。地方公務員法でも職員の給与は、給与に関する条例に基づいて支給されなければならないと定められている。このことから地方自治法、また地方公務員法にも明らかに違反するものと考えている。

以上のことから、議会の使命と議員としての職責において、到底見過ごせないため、修正案を提出する。

歳出予算のうち、民生費に計上された保育業務慰労金172万8000円を減額、歳入予算では国庫支出金に計上された保育士等処遇改善臨時特例交付金172万8000円を減額するもの。

【修正の内容】

【修正の理由(要旨)】

提出者 川戸茂男議員

●一般会計当初予算に対する修正動議

ながら執行していく。

### 〔衛生費〕 旧ごみ焼却場について

旧焼却炉を撤去する考えはないか。

今後、何か良い方法がないか、検討していきたい。

### 〔農林水産業費〕 有害鳥獣対策について

野生獣の被害状況について、村内でも被害がある。近隣の市町村と連携して取り組む必要はないか。

イノシシによる被害が、これから出てくるのではないかと心配している。令和4年度にイノシシの箱わなを整備することとしている。他の市町村との連携については、これから検討する。

### 〔農林水産業費〕 甘茶の生産について

甘茶工場は、50年近く経過している。公共施設管理計画では、令和6年度に大規模改修の計画があるようだが、前倒しできないか。

甘茶工場の機能面については、十分に検討しなければならぬ。全体の体制も含めて検討したい。



甘茶の生産拡大が課題

### 〔農林水産業費〕 森林整備事業補助金は

森林整備事業補助金の内容はどうか。

国の補助事業の対象となる森林の下刈り作業への国の森林環境保全直接支援事業に準じて、補助率4割で村の事業として行いたい。

### 〔商工費〕 高齢者への弁当配食

高齢者への弁当配食サービス事業は、令和3年度は一年を通して行われた。評価はどうか。

弁当を作る業者からは、コロナ禍の中で定期的な売り上げにつながり、助かるとの意見をいただいている。今後の継続にあたっては検討していく。

### 〔消防費〕 旧消防署九戸分署の活用は

消防署九戸分署の移転後、旧庁舎の利活用の考え方はどうか。

二戸広域行政事務組合の行政財産であり、令和4年度は村で借りる。その後については、現状のままで使用していくかどうか検討していく。

二戸広域行政事務組合の行政財産であり、令和4年度は村で借りる。その後については、現状のままで使用していくかどうか検討していく。

## ロシアのウクライナ侵攻に抗議し恒久平和を求める決議

ロシアは、2月24日早朝(現地時間)、「自衛」を口実として、隣国ウクライナへの侵略を開始した。

ロシアの武力による軍事侵攻は、幼い子どもを含む多くのウクライナ国民の尊い命を奪い、負傷者は多数にのぼり、多くの建物が砲撃され炎上し、戦火を恐れ国外に退避する大勢のウクライナ国民が過酷な避難施設での生活を余儀なくされている。

力による現状変更は、戦後、長年にわたって築き上げてきた国際秩序の根幹を揺るがす暴挙であり、領土保全、武力不行使等を規定する国連憲章と国際法に明らかに反する行為である。

さらに、ロシア大統領は核兵器の使用もちろつかせており、核兵器で国際社会を威嚇することは、核戦争の危険を抱かせるもので、唯一の戦争被爆国の国民として断じて容認できない。

よって、九戸村議会は、ロシアによる軍事的暴挙に対し、抗議と非難の意を強く表明するとともに、ロシア軍による即時の攻撃停止と完全・無条件の撤退を強く求める。

日本政府においては、ウクライナの在留邦人の安全確保に全力を尽くし、日本国内においては国民生活への影響を最小限に抑える対応を行うよう求めるものである。

九戸村議会は、「非核平和の村宣言」(昭和60年)に基づく、世界の恒久平和の実現を強く希求するものである。

以上、決議する。

議員発議として、決議案の提出がありました。  
全員賛成で可決しました。  
▼ロシアのウクライナ侵攻に抗議し恒久平和を求める決議

提出者議員 大崎優一  
賛成者議員 坂本豊彦  
中村國夫  
川戸茂男  
岩淵智幸

## 議員発議がありました

# 第1回定例会 こんなことが決まりました

## 条例

▼九戸村青少年問題協議会設置条例を廃止する条例  
九戸村青少年問題協議会を廃止するものです。

▼特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
青少年問題協議会委員の廃止及び学校運営協議会委員の設置に伴い、所要の整備を行うものです。

▼職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例  
地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、所要の整備を行うものです。

▼九戸村国民健康保険条例の一部を改正する条例  
地方税法の改正に伴い、所要の整備を行うものです。

## 議決事件

▼指定管理者の指定に関し議決を求めることについて  
指定期間が満了となる村の8施設について、管理運営を行う団体の指定を議決しました。

## 補正予算

▼令和3年度一般会計補正予算(第8号)  
予算総額から2億4118万3000円を減額し、56億2973万円となりました。予算の内容は、事業実績見込みによる差額の減額と、事業の繰り越し等を決定するものです。

▼令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)  
予算総額に429万7000円を追加し、6億2155万2000円となりました。予算の内容は、給付見込み額の増額などです。

▼令和3年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
予算総額から625万1000円を減額し、1億3066万7000円となりました。予算の内容は、事業実績見込みによる差額の減額です。

▼令和3年度伊保内財産区特別会計補正予算(第2号)  
予算総額から159万3000円を減額し、691万3000円となりました。予算の内容は、事業実績見込み額による差額の減額です。

▼令和3年度戸田財産区特別会計補正予算(第2号)  
予算総額から159万3000円を減額し、691万3000円を減額し、691万3000円となりました。予算の内容は、事業実績見込み額による差額の減額です。

▼令和3年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)  
予算総額から137万1000円を減額し、3633万6000円となりました。予算の内容は、実績見込みによる差額の減額です。

▼令和3年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)  
予算総額から137万1000円を減額し、3633万6000円となりました。予算の内容は、実績見込みによる差額の減額です。

▼令和3年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
予算総額から625万1000円を減額し、1億3066万7000円となりました。予算の内容は、事業実績見込みによる差額の減額です。

▼令和3年度伊保内財産区特別会計補正予算(第2号)  
予算総額から159万3000円を減額し、691万3000円を減額し、691万3000円となりました。予算の内容は、事業実績見込み額による差額の減額です。

▼令和3年度戸田財産区特別会計補正予算(第2号)  
予算総額から159万3000円を減額し、691万3000円を減額し、691万3000円となりました。予算の内容は、事業実績見込み額による差額の減額です。

▼令和3年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)  
予算総額から137万1000円を減額し、3633万6000円となりました。予算の内容は、実績見込みによる差額の減額です。

## 令和4年度予算

▼令和3年度江刺家財産区特別会計補正予算(第1号)  
予算総額に61万6000円を追加し、526万7000円となりました。予算の内容は、財産管理資金積立金などです。

▼令和4年度一般会計や特別会計、水道事業会計予算など、10会計の予算が決まりました。(詳細は、2ページに掲載)

## 反対討論 久保えみ子議員

「制度に反対」  
後期高齢者医療特別会計を超えたというだけで、安上がりでの差別医療を押し付けられる制度だ。命と健康に関わる医療による差別と高齢者への新たな負担を持ち込む制度だ。高齢者が安心して医療が受けられる体制にすべきだ。

## 令和4年第1回定例会 議員ごとの賛否の状況

議案等番号	議案名等	古舘巖	川戸茂男	坂本豊彦	大崎優一	中村國夫	久保えみ子	保大木信子	岩淵智幸	渡保男	山下勝	桂川俊明	櫻庭豊太郎	採決の結果
第1号	青少年問題協議会設置条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第2号	特別職の職員の給与に関する条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第3号	職員の育児休業等に関する条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第4号	国民健康保険条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第5号	九戸村立ふるさとの館の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第6号	ふるさと創造館の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第7号	九戸村雑穀加工施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第8号	パークゴルフ場の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第9号	コロポックルランドの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第10号	オドデ館の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第11号	まちの駅「まさざね館」の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第12号	九戸村屋内ゲートボール場の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第13号	令和3年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第14号	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可決

# 議員は何をしているの？

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。  
ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。



1月

- 4日 令和4年九戸村新年交賀会
- 7日 令和4年第1回臨時会  
議員全員協議会
- 10日 北部地区町村議会議長会臨時総会
- 12日 北部地区町村議会議長会  
岩手県議会議長への要望活動
- 26日 九戸村村政調査会  
産業民生常任委員会と地域おこし協力隊との懇談会



地域おこし協力隊と情報交換を行う議員

2月

- 8日 二戸地区広域行政事務組合議会議員全員協議会  
議会運営委員会
- 9日 北部地区議長会正副議長及び事務局長合同会議  
北部地区議長会、県北地区選出県議会議員との懇談会
- 14日 二戸地区広域行政事務組合議会定例会
- 16日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会定例会
- 18日 岩手県町村議会議長会第73回定期総会
- 24日 九戸村村政調査会
- 28日 議会運営委員会



懸案であった九戸分署庁舎が落成

3月

- 7日 令和4年第1回定例会 本会議(議案説明)  
議員全員協議会、村政調査会、各常任委員会
- 10日 令和4年第1回定例会 本会議(一般質問)
- 11日 令和4年第1回定例会 本会議(議案審議)
- 11日 令和4年第1回定例会 予算特別委員会(17日まで)
- 18日 令和4年第1回定例会 本会議(議案審議)  
議員全員協議会
- 23日 社会福祉法人九戸福祉会理事会
- 24日 二戸消防署九戸分署庁舎落成式典
- 29日 九戸村村政調査会

## 請願・陳情の出し方

- ① 請願書(陳情書)は、その趣旨、理由を簡潔にわかりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ③ 請願書は一人以上の紹介議員が必要で、表紙に自書による署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は、簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

### (記入例)

(表紙)	(内容)
請願(陳情)書	令和 年 月 日 九戸村議会議長(氏名)殿 請願(陳情)者の住所 氏名 〇〇〇について 請願(陳情) (要旨) (理由)
紹介議員 氏名	

議案等番号	議案名等	古舘 巖	川戸 茂男	坂本 豊彦	大崎 優一	中村 國夫	久保えみ子	保大木信子	岩淵 智幸	渡 保男	山下 勝	桂川 俊明	櫻庭豊太郎	採決の結果
第15号	令和3年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第16号	令和3年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第17号	令和3年度索道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第18号	令和3年度戸田財産区特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第19号	令和3年度伊保内財産区特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第20号	令和3年度江刺家財産区特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第21号	令和4年度一般会計予算【修正案】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和4年度一般会計予算【修正部分を除く原案】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第22号	令和4年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第23号	令和4年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-
第24号	令和4年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第25号	令和4年度下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第26号	令和4年度索道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第27号	令和4年度戸田財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第28号	令和4年度伊保内財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第29号	令和4年度江刺家財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第30号	令和4年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	第1号 決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※表の見方:「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「-」は採決に加わらなかった。  
※櫻庭豊太郎議長は賛否が同数などの場合にのみ、採決に加わります。それ以外は採決に加わりません。

## 第1回臨時会

### 補正予算

令和4年第1回臨時会が1月7日に開かれました。村長から提出された議案1件を慎重に審議した結果、原案のとおり可決されました。

令和3年度一般会計補正予算(第7号)  
既定の予算総額に1億4693万9000円を追加し、予算の総額を58億7091万3000円としました。

▼新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、村民の生活を速やかに支援するため臨時特別給付金、子育て世帯臨時特別給付金などを追加するものです。

### ◆主な質疑◆

問 住民税非課税世帯臨時特別給付金の内容は、どうか。  
答 非課税世帯752世帯、家計急変世帯は300世帯を見込む。1世帯に10万円を給付するもの。

## 令和4年第1回臨時会 議員ごとの賛否の状況

議案等番号	議案名等	古舘 巖	川戸 茂男	坂本 豊彦	大崎 優一	中村 國夫	久保えみ子	保大木信子	岩淵 智幸	渡 保男	山下 勝	桂川 俊明	櫻庭豊太郎	採決の結果
議案	第1号 補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※表の見方:「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「-」は採決に加わらなかった。  
※櫻庭豊太郎議長は賛否が同数などの場合にのみ、採決に加わります。それ以外は採決に加わりません。

令和4年第2回臨時会が5月24日に開かれました。村長から提出された議案16件を慎重に審議した結果、原案のとおり可決されました。

補正予算

▼令和4年度一般会計補正予算(第1号)  
 予算総額に1332万8000円を追加し、50億5035万6000円としました。

条例

▼九戸村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の改正  
 ▼特別職の職員に関する条例の改正  
 ▼一般職の職員の給与に関する条例の改正  
 議員、村長、副村長、教育長、村職員の期末手当の支給率を1.25%引き下げました。  
 ▼会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の改正

議決事件

会計年度任用職員の期末手当の支給率を0.75%引き下げました。

専決処分の承認

▼ロータリー除雪車を3179万円で購入することを議決しました。  
 ▼税条例等の改正  
 地方税法等の改正に伴い、所要の整備を行いました。  
 ▼国民健康保険条例の改正  
 課税限度額などが改正されました。  
 ▼過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の改正  
 租税特別措置法の改正に伴い、所要の整備を行いました。  
 ▼個人情報保護条例の改正  
 デジタル社会の形成を図るための関係法律の施行に伴い、所要の整備を行いました。  
 ▼令和3年度一般会計補正予算(第9号)  
 予算総額から1281万1000円を減額し、総額を56億1691万9000円としました。  
 ▼令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)  
 902万1000円を追加し、総額を6億3057万3000円としました。  
 ▼令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
 予算総額から、165万8000円を減額し、6506万6000円としました。  
 ▼農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)  
 予算総額から、10万円を減額し、3623万6000円としました。  
 ▼令和3年度索道事業特別会計補正予算(第4号)  
 予算総額から、265万円を減額し、1567万8000円としました。  
 ▼令和3年度戸田財産区特別会計補正予算(第3号)  
 37万1000円を追加し、総額を728万4000円としました。

令和4年第2回臨時会 議員ごとの賛否の状況

議案番号	議案名等	古	川	坂	大	中	久	保	岩	渡	山	桂	櫻	採決の結果
		田	村	本	崎	村	保	大	瀬	下	川	庭	豊	
		茂	園	豊	一	園	子	木	智	保	勝	後	太	
		男	夫	彦	郎	夫	子	信	幸	男	勝	明	郎	
		茂	夫	彦	一	園	子	信	幸	男	勝	明	郎	
		茂	夫	彦	一	園	子	信	幸	男	勝	明	郎	
第1号	九戸村税条例等の一部を改正する条例の専決処分に承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第2号	九戸村国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分に承認を求めることについて	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-
第3号	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の専決処分に承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第4号	九戸村個人情報保護条例の一部を改正する条例の専決処分に承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第5号	令和3年度九戸村一般会計補正予算(第9号)の専決処分に承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第6号	令和3年度九戸村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)の専決処分に承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第7号	令和3年度九戸村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の専決処分に承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第8号	令和3年度九戸村農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分に承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第9号	令和3年度九戸村索道事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分に承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第10号	令和3年度戸田財産区特別会計補正予算(第3号)の専決処分に承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第11号	九戸村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第12号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第13号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-
第14号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-
第15号	財産の取得に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第16号	令和4年度九戸村一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※表の見方:○は賛成、×は反対、△は欠席、-は採決に加わらなかった。  
 ※櫻庭豊太郎議長は賛否が同数などの場合にのみ、採決に加わります。それ以外は採決に加わりません。



次ページからは

# ～村政を問う～

## 一般質問に4人が登壇

3月定例会での一般質問は3月10日に行われ、4人の議員が一般質問に登壇し、活発な議論が展開されました。  
 掲載している内容は、紙面の都合で要約しています。  
 全文記録(議事録)は、村ホームページでご覧いただけます。

質問議員(質問順)	質問事項	掲載ページ
中村 國夫 議員	○アンケート調査結果と今後の教育環境整備について ○地域おこし協力隊について ○今後の本村のイベント開催のあり方について	12
保大木 信子 議員	○アンケート実施後の九戸村の教育環境について ○今後の教育環境充実に向けての取り組みについて	13
山下 勝 議員	○人材育成について ○森林環境譲与税の活用について ○新型コロナウイルス感染症対応について	14
久保 えみ子 議員	○いま最も緊急かつ重要な課題となっているコロナ対策について ○持続可能な農業経営の実現をめざす村の農業政策について ○子どもの貧困問題について	15

**一般質問とは、**議員が村の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。  
 九戸村では、一人60分以内の制限時間で質問を行います。

※一般質問はアクリルパーテーションを設置したうえで、マスクをはずして行っています。



中村國夫 議員

# 村民アンケート調査結果と今後の教育環境整備について

## 教育長 ▶ 回収率は65.4%。小学校再編・統合を進めるべきとの回答は59%

○ 村教育委員会では、持続可能な教育環境の整備を推進するため、中学生以上の村民を対象にアンケートを実施したが、その分析結果はどうか。

【教育長】 主な設問に関する回答は、①村内の小中学校で伊保内小を除く4校で複式学級があることを知らない方は38.5%、②小・中学校の教員が学級数によって配置されることを知らない方が50.3%。③学校再編・統合を進めるべき、どちらかという



教育環境の整備が課題

と進めるべき」との回答は59.9%。「再編・統合はしない方が良い、どちらかというとならない方が良い」が8.7%となっている。

そして、「持続可能で良質な教育環境」の整備について、検討する上で必要と思われるものとして、「小・中学校の9年間を見越した体制や教育内容の推進」、「学力や競技力の向上」、「九戸村の将来を担う次世代の人材育成」とした回答が多数であった。

### 小学校の教育環境整備をどう進めるのか

○ アンケート結果を受けて、村として今後、教育環境整備をどのように進めていくのか。

【村長】 この件に関しての私の基本的な姿勢は、村民の十分な理解を得た上で、可能な限り早期に方向性を見出し、進めていくことだ。今後は、教育委員会と村民の話し合いにより、具体案が出来上がるのを待ちたい。

### 地域おこし協力隊について

○ 大幅な出生数の減少、村内小学校の複式学級の状況、子どもを持つ親からの早期の学校統合を求める声が多多く聞かれる。村長の見解はどうか。

村長に就任してすぐに教育委員会に指示をしたところだが、まずは、住民がどのような形を望むのかについて、さらに教育委員会と住民との間で協議がなされ、合意の上で具体的な方向性が示されることを期待している。

【村長】 小学校統合を含む「教育環境整備」については、

【村長】 令和3年度に本村初となる地域おこし協力隊を8人採用することができ、村の広報や宣伝、体験交流の企画実施、伊保内高校の支援、自伐型林業の技術習

### 今後のイベント開催のあり方は

○ 収束が見えないコロナ禍の現状にあつて、今後のイベント開催についての考えを伺う。

【村長】 今後のイベントの開催にあたっては、専門家の知

得と普及、ナインズファームの支援などに従事している。地域おこし協力隊の任期3年の満了後もそのまま本村に残っていたいただきたいところだ。このため、自立するためのビジネスプランを一緒に考えていきたい。

見を踏まえた国や県の指導の下、必要な感染防止対策の徹底を図るとともに、個々のイベントの趣旨や事情を考えながら、開催のあり方を総合的に判断していく。

えているのか。

【教育長】 過小規模校では、このような現象は常に起こり得ることであり、そのような教育環境の中で、教職員は、日々児童の健全な育成と学力向上のため、小規模校以上に神経を使った学

【村長】 私の立場は、教育に限定されたものではなく、保健、福祉の充実、産業振興、道路などの生活インフラ整備、防災対策など、様々な課題に対処しなければならぬ。さまざまな課題の中から優先度の高い順に必要性、緊急性を踏まえて執行していかねばならない。

【教育長】 自由記載欄には、実にたくさん意見が記載されており、中にはかなり切実なものや厳しい批判などもあった。しかし、多種多様なご意見に共通している思いは、かなりの村民の方々が村の宝である子どもたちの教育環境が、現在のままでよいとは考えていないことだ。そのことは、他の市町村で見られるような自分の地域から学校がなくなることに由来する反対の声はほとんど見られず、子どもを第一に考えての意見だったのには非常に感銘を受けた。多くの村民が、子ども本位の教育環境を考えておられることを改めて強く認識したところだ。

### アンケートを受けての取り組みは

○ アンケート結果を受けて、今後どのような取り組みをしていくのか。

【村長】 私の基本的な姿勢は、村民の十分な理解を得た

上で可能な限り早期に方向性を見出し、進めていくことだ。今後は、教育委員会と村民との話し合いにより、村民が納得できる形で具体案が出来上がるのを待ちたい。

# 村民アンケートの自由記載、意見はどうか

## 教育長 ▶ 子どもを第一に考えてのご意見が多く感銘を受けた



保大木信子 議員



村の将来を担う子どもたち

○ 村民の今一番の関心は、小学校の統廃合だ。令和2年度一般会計予算において、施設一体型小中一貫校建設の学校整備費を除いた修正案が議会で採択された。それ以降、統廃合の話が一切なくなり、保護者の方々には、あきらめの感情や怒りがあることも理解している。議会常任委員会で複式学級のある学校を視察した。昨今の学校教育は、学習指導要領において、「自主的・対話的で深い学びが求められている」とお聞きし、その環境を整えてあげることが必要だ。

【教育長】 自由記載欄には、実にたくさん意見が記載されており、中にはかなり切実なものや厳しい批判などもあった。しかし、多種多様なご意見に共通している思いは、かなりの村民の方々が村の宝である子どもたちの教育環境が、現在のままでよいとは考えていないことだ。そのことは、他の市町村で見られるような自分の地域から学校がなくなることに由来する反対の声はほとんど見られず、子どもを第一に考えての意見だったのには非常に感銘を受けた。多くの村民が、子ども本位の教育環境を考えておられることを改めて強く認識したところだ。

### 複式学級の状況をどう捉えるか

○ 複式学級や学年に1人しかない状況をどう捉



山下 勝 議員

# 本村で初めての地域おこし協力隊、成果はどうか

村長▶外から人材を受け入れることで、村内にさまざまな化学反応が生まれている。

問 村の人材育成という意味では大きな役割を果たすものとして、令和3年度、本村では初めて地域おこし協力隊を採用したが、一年を経過して、どのような成果があったと認識しているか。

村長▶ 令和3年4月から8人の地域おこし協力隊を採用することができ、そのうち4人が20代と若いメンバーに来ていただいた。このため、斬新なアイデアも生まれ、役場職員にも大変刺激になっているようだ。また、村内外に人脈を構築しながら、技術習得のかたわら、村の活性化に向けて様々な取り組みを進めている。

外からの人材を受け入れることで、村内に様々な化学反応が生まれており、今後の活躍を期待している。

## 人材育成事業の検証は行われているか

問 中・高校生の海外派遣事業など、その他の人材育成に関わる事業の検証は行われてきたか。

村長▶ 村では、平成元年度に九戸村人材育成基金とし、その運用益を人材育成の経費に充当する取り組みを開始した。

近年は、青少年海外派遣事業が主な内容となり、これまで207人の中・高校生を海外に派遣し、現地での研修や交流を実施してきた。事業開始当初は、海外派遣参加者の進路調査等を行い、事業の成果を検証していたが、現在は、追跡調査を行っていない。

## 森林環境譲与税の活用の考え方はどうか

問 運用3年目になる森林環境譲与税の活用は、作業道の敷設や重機の導入等に活用すべきではないか。

村長▶ 森林環境譲与税は、森林整備等に必要なる財源を安定的に確保することを目的に創設された。

村では、初年度は基金積み立てを行い、2年目は林地台帳の更新を行い、3年目は健全な山づくりを実践するモデル林として村所有地等の整備に活用したところだ。

## 新型コロナウイルス感染症対策について

問 丸2年を超えるコロナ禍の中で、今年に入って本村では、消防団出初め式、成人式が中止になった。1月後半以降、新型コロナウイルス陽性者が増加傾向にあるものの重症化率、死亡率ともに低下している。

以前と違う状況と認識しているが、これらの行事を中止するという判断を選択した根拠は何か。

村長▶ 消防団出初め式は、団員の士気の高揚、村民に対する防火意識の普及宣伝のほか、消防力を示して理解



村では自伐型林業が推進されている

と信頼を深めてもらうなど、重要な行事であると認識しているが、出初め式を行うこと自体が目的ではなく、コロナ禍の中でも消防防災機能を維持していくことを優先すべきことと判断し、消防団員への感染防止のため、村としても消防団の意向を尊重する形で中止としたものだ。

成人式については、成人者の意向が最も尊重されるべきものだという認識で、その方たちの判断が中止ということ、それを尊重したところだ。

問 感染拡大や重症化を防ぐために、3回目のワクチン接種を急ぐことが重要だ。取り組み状況と今後の計画はどうか。

村長▶ 感染力の高いオミクロン株の流行に伴い、新規感染者が増加する中で、感染者全体に占める子どもの割合が増えていることから、5歳から11歳までの子どもについても国の方針により、ワクチン接種が進められることになった。

3回目接種と子どもへの新たな接種は、二戸医師会などの関係機関と連携を密にし、希望する村民の皆さまに迅速・確実な接種が可能となるよう進めていきたい。

問 感染を早期に見出し、拡大を防ぐには、感染が疑われる人に対する検査を迅速に行うことが必要だ。

村長▶ 現時点では、県や民間が行う検査の周知を図りながら、市町村の役割として、第一にワクチン接種の速やかな実施が求められているものと認識しており、これを最優先課題に掲げながら、新型コロナウイルス対策に万全を期していきたい。

## 持続可能な農業の実現を目指す政策を

問 生産者米価が低迷を続け、他の農畜産物も生産者価格が下落す

る一方で、燃料費や資材費、工サ代などの高騰が続き、経営は、悪化の一途をたどるばかりだ。この状況を抜本的に改善してこそ、担い手の確保や耕作放棄地の解消、地域農業の振興に展望が開かれる。

その打開策の中心は、生産コストをカバーする農産物の価格補償だ。村独自の価格補償制度を抜本的に拡充することや、新規就農者への特別の支援をすることが必要ではないか。

村長▶ 村の農産物への価格

## 子ども貧困問題について

問 昨今、子どもの貧困問題が大きな社会課題になっている。貧困解決に向けて経済的支援、社会的支援を拡充することが求められている。村の認識と対応策を伺う。

村長▶ 厚生労働省が発表した2019年国民生活基礎調査によると、子どもの貧困率は、13.5%、7人に1人が

貧困の状態にあるといわれている。貧困問題への対応は本来的には国が担うべき国政レベルの案件だ。

村としては、貧困対策の位置付けではないが、出生祝い金の給付拡大、出産時の出産費助成、村独自の子ども手当の支給、給食費の無料化や就学援助など、子育て支援の一端として、経済的な支援を進めている。

# 最も緊急で重要な課題となっているコロナ対策について

村長▶二戸医師会などと連携し、迅速に進めていく



久保えみ子 議員

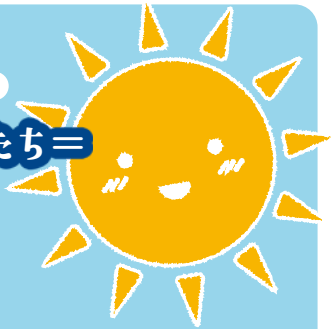


関係機関と連携して集団接種が進められている

問 生産者米価が低迷を続け、他の農畜産物も生産者価格が下落す



# 小さな太陽 =明日をひらく子どもたち=



キラキラ輝く瞳。大きな夢なら負けません。

このコーナーでは、そんな太陽のような目をした子どもたちに登場してもらいます。

vol.225

令和4年11月2日発行

発行／九戸村議会  
編集／議会広報常任委員会

〒028-6502 岩手県九戸郡九戸村大字伊保内10-11-6  
電話：0195(42)2111(代) FAX：0195(41)1005  
E-mail：gikai@vil.kunoha.iwate.jp



## わたしが 目指す村

山根小学校 5年  
くらぐち めい  
倉口 芽依さん

わたしが思うしょう来の九戸村は、九戸全いきの人が仲良く、協力して自然のかんきょうを整え、自然がいっぱいで、空気がとてもおいしい村になることです。理由は、二つあります。

一つ目は、九戸村は地区ごとに、知っている人、知らない人がいます。それでは、村全体としてまとまり

がうすくなります。そこで九戸村全いきの人がアイデアを出し合うことで、もっとよい九戸村を作れると思うからです。二つ目は、学校や地いきが協力し、今ある山や川を守り緑を増やすと、空気がとてもおいしくなり、九戸村の住民が健康で、幸せにくらせると思うからです。このようなことか

らわたしが思うしょう来の九戸村は、九戸村全いきの人の仲が良く、協力して自然のかんきょうを整え、自然いっぱい空気がとてもおいしい村になることです。これから、このゆめに向かってわたしにできることを見つけ、協力していきたいです。



## しょう来の 九戸村

山根小学校 5年  
やまもと そうた  
山本 蒼大さん

ぼくは、しょう来も自然にめぐまれて、幸せな九戸村になってほしいです。具体的にとどのようなものかというところ、たくさんお米や野菜が取れる村。春になれば、いろいろな山菜がたくさん取れ、さくらや花がとでもたくさん咲く村。夏になれば、虫たちがたくさんでてきて、夜には星

がたくさん見えて、カブト虫やクワガタやひめホタルがたくさんいる。川には、いろいろな種類の魚がいて魚つりができる。そんな虫たちの合唱が聞こえてくる村。秋になれば、山でいろいろな種類のきのこがたくさん取れ、果物ができ、きれいなこう葉が見れる村。冬になれば、たくさん

雪がふって、雪だるまや、大きいかまくらが作れ、雪合戦ができる村。もちろんスキー場で、スキーやスノーボードやソリを楽しむことができ、スキー場祭りいろいろな楽しいイベントができる村。ぼくは、しょう来今まで以上に自然にめぐまれ、幸せな九戸村になってほしいと願っています。

## あ と が き

はやり病に生活が左右されてから三年ぶりに行事が開催され、村民の皆さんの顔も見える機会が増えました。必要な情報を獲得し、免疫力を高めて生き生きとした生活を取り戻しましょう！

今年度、議会改革の一つでタブレットを導入しました。コスト削減や事務、業務の効率化が図られています。今後は村民の皆さんの情報交換や共有にも活用していきたいと考えています。

### ◆発行責任者

議長 櫻庭 豊太郎

### ◆議会広報常任委員会

委員長 桂川 俊明  
副委員長 保大木 信子  
委員 坂本 豊彦  
渡本 保男  
山下 勝



地域協力の下に開催された戸田神明宮祭典